

# 「いじめ正しく対処を」

## NPOや遺族意見交換

大津



いじめへの対策や解決法について意見を交わしたミニセミナー&パネルトーク(大津市におの浜・ピアザ淡海)

くるNPO「いじめから子供を守ろう」ネットワーク」(東京都)が昨年2月と6月に続いて開いた。

初めに同ネットワークの井澤一明代表がいじめ対策の基本について講演。「親も先生も正しい対処法を知って対応しなければ」と述べ、いじめた子たちに口裏合わせの時間を与えないよう複数の教師で一斉に聞き取りをするなど具体的な事例を紹介した。

命は戻らない。自分の子は親が守るといふ強い思いで、普段から子どもをよく見て変化に気付くことが大事」と語った。また、古尾谷雅博大津市議は、2011年秋に同市の中学2年の男子生徒が自殺した問題に関して、市教委や議会の対応などについて意見を述べた。(森山敦子)

子どものいじめ問題を考える「いじめ解決ミニセミナー&パネルトーク」が20日、大津市におの浜のピアザ淡海で開かれた。NPO

関係者や少年暴行事件被害者の遺族らが、いじめはどうすれば解決できるのか意見を交わした。

全国の保護者らでつ

パネルトークでは、11年前に少年による暴行事件で息子を亡くした青木和代さん「大津市」が、体験を通して

「どんなに後悔しても